

済生会山口総合病院 外来医師担当表

2020年6月20日現在 **【受付時間…午前8時30分～11時】※予約の場合を除く**

診療科名		月	火	水	木	金
内科 083-901-6102 ※呼吸器内科、完全紹介予約制	循環器	山田 倫生	小野 史朗	金本 将司	小野 史朗	國近 英樹
		金本 将司	國近 英樹	担当医	山田 倫生	
			赤川 英三		赤川 英三	
	腎臓	安藤 亮太郎	今井 剛	和泉 隆平	今井 剛	和泉 隆平
		藤田 直紀	村木 和彦		村木 和彦	藤田 直紀
	糖尿病・血液	末富 史佐 (午後1時～)		末富 史佐 (午前9時～午後0時)		
原田 稔也 (消化管)		石垣 賀子 (胆臓)	花田 浩 (肝臓)	青山 浩司 (肝臓)	佐々木 翔 (消化管)	
呼吸器	*非常勤医師 (午前9時30分～)	*非常勤医師 (午後2時～)	*非常勤医師 (午後2時～)	*非常勤医師 (午前9時～午後0時)	*非常勤医師 (午後2時～)	
外科 083-901-6107	1診	小林 俊郎 (心臓血管)	高橋 剛 (消化器・乳腺)	郷良 秀典 (心臓血管・呼吸器)	神保 充孝 (呼吸器)	高橋 剛 (消化器・乳腺)
	2診	斎藤 聰 (血管)	上杉 尚正 (再診のみ)	大塚 遼 (心臓血管)		
	【専門外来】○乳腺外来 午後0時～午後1時 毎週火曜日 上杉尚正 医師の診察となります。 午後2時～午後3時 毎週金曜日 高橋 剛 医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 斎藤 聰 医師の診察となります。					
泌尿器科 083-901-6120	1診	城甲 啓治	大場 一生	浜辺 龍太郎	大場 一生	浜辺 龍太郎
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1診	竹野 研二	*非常勤医師	竹野 研二	竹野 研二	竹野 研二
脳神経外科 083-901-6109	1診	湧田 幸雄	北原 哲博	*完全予約制 湧田 幸雄	小泉 博靖	北原 哲博
	2診	小泉 博靖				
	○北原医師 【受付時間】午前8時30分～10時 ○2診 第1月曜日のみ 非常勤医師 (※完全予約制)					
整形外科 083-901-6108 ※完全紹介制	初診	大中 博司 (脊椎・外傷)	三原 修三 (肩関節)	*非常勤医師 (脊椎・外傷)	*完全紹介予約制 岸本 哲朗 (脊椎・人工関節)	大野 晃靖 (手の外科・末梢神経・外傷)
	再診	岸本 哲朗	大野 晃靖	初診・再診 森重 昌志 (関節・外傷)	大中 博司	三原 修三
産婦人科 083-901-6122	1診	古谷 信三	*非常勤医師	古谷 信三	古谷 信三	古谷 信三
眼科 083-901-6123 ※完全紹介予約制	1診	休診	*非常勤医師	休診	*非常勤医師	休診
皮膚科 083-901-6110 ※完全紹介制	1診	*非常勤医師	休診	*非常勤医師	休診	休診
小児科 083-901-6106	1診	*非常勤医師	休診	休診	休診	休診

*印は非常勤医師

医療機関の先生方へ

放射線科	CT・MR・RIは次の電話番号から直接ご予約が可能です。《放射線科の診療は完全予約制です。》 ●CT予約…083-901-6149 ●MR予約…083-901-6151 ●RI予約…083-901-6154 予約受付〔月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時〕(※心筋シンチ・冠動脈CTについては内科・循環器科にご紹介ください。)
栄養科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。 予約受付 (月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6177

患者サポートセンター
地域連携室

患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。

予約受付
月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時
TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357

《用語の解説》

★完全予約制…事前に予約をお取り頂くことが必要な外来
★完全紹介制…医療機関からの紹介(紹介状の持参)が必要な外来
★完全紹介予約制…医療機関から事前に地域連携室へご連絡の上、紹介の予約をお取り頂くことが必要な外来

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

Life No. 142

済生会山口総合病院広報誌 2020年7月10日発行

済生会山口総合病院 TEL 083-901-6111(代表) FAX 083-921-0714

地域医療支援病院/日本医療機能評価機構認定病院

社会福祉法人 済生会支部

Life ライフ

No. 142

山口県済生会山口総合病院

発行：地域連携委員会 広報チーム
発行責任者：院長 城甲 啓治
〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2020年7月号

新型コロナウイルス対策時の熱中症予防策

新しい生活様式で夏を乗り切ろう!

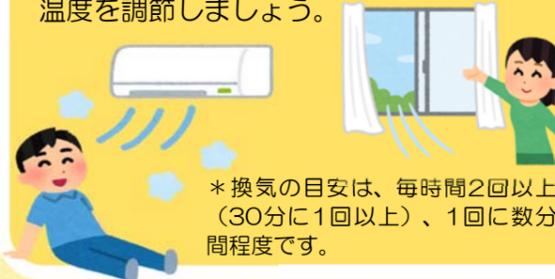


新型コロナ感染対策本部コアメンバー 副看護部長 檀村 香利

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」として、一人一人が感染防止の3つの基本(身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い)に加え、「密集・密接・密閉」の3密の空間を避けるなどの対策を取り入れた生活様式を実践することが求められています。長く続いた外出自粛の影響もあり、私たちの体は夏への準備が十分できているとは言えません。そこで、夏を迎えるにあたり、新たな熱中症予防のポイントをまとめました。

■冷房時でも窓開放や換気扇による換気

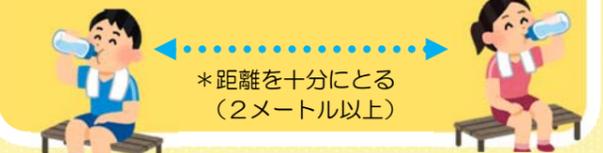
一般的な家庭用エアコンは、換気の機能がありません。換気*により室内温度が高くなりがちなので、こまめにエアコン温度を調節しましょう。



*換気の目安は、毎時間2回以上(30分に1回以上)、1回に数分間程度です。

■マスクをはずして休憩することも大切

マスクは飛沫予防に有効です。しかし、マスク着用により、身体に負担がかかることもあります。屋外で、人との十分な距離*が確保できる場所ではマスクを一時的に外して休憩することも必要です。



*距離を十分にとる(2メートル以上)

■日頃からの体調管理

毎日の体温測定、健康チェックをすることは、熱中症予防にも有効です。平熱を知っておくことで、発熱に早く気づきます。体調が悪いと感じた時は、自宅で静養しましょう。



■のどが渇く前に水分補給

のどが渇いてなくても、こまめに水分をとるようにしましょう。



理念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針

- 一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
- 一、良質の医療サービスを提供します。
- 一、目標達成のため自己研鑽につとめます。

患者さんの権利

1. 平等で適切な医療を受けること
2. 尊厳が守られること
3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること
4. プライバシーが守られること
5. 自らの意思で医療を選択すること
6. 他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めること

医療費に関するご相談をお受けしています

▶ 当院では、社会福祉法にもとづき、生計困難者に対して、無料または低額の費用で適切な医療を受けていただけるよう支援を行っています。

☎ 相談窓ロ 医療社会事業室 TEL 083-901-6268(直通)



糖尿病教室 について

日本糖尿病療養指導士
(外来看護師) 福田 浩子

糖尿病の治療、合併症の予防には、患者さんやご家族の方に糖尿病について知っていただき、前向きに取り組んでいただくことがとても大切です。

当院では、糖尿病教室を開催して、糖尿病について専門スタッフが、分かりやすく説明しています。糖尿病と診断された方、糖尿病について詳しく知りたい方、ご家族の方等ご参加いただけます。

教室は、2週間1クールで、前半と後半で開催しています。

糖尿病の推計患者 (2014年)

全国 **2,432,000**人

山口県 **33,000**人

- 第7次山口県保健医療計画より -

	曜日	時間	内容	担当
前 半	第1水曜日	13:00 ~ 15:00	糖尿病とその合併症について	医師
	第3水曜日		日常生活について	看護師
後 半	第2水曜日	13:00 ~ 15:00	糖尿病治療について	医師
	第4水曜日		運動療法について	理学療法士
	第4水曜日		薬物療法について	薬剤師
	第4水曜日		間食・アルコール・外食について	管理栄養士

教室に参加して、糖尿病について正しく理解し、食事療法や運動療法、薬物療法を学び実践し、日常生活を見直してみましよう。

《 お問い合わせ 》

患者サポートセンター 地域連携室 083-901-6187



最新技術

環境にも
患者さんにも
優しい装置



MRI装置1.5T Philips社製 Ingenia Ambition
(インジニア アンビション)

今年3月下旬より

国内
3台目の

MRI装置が入りました!



早くてきれい

コイル（体からの信号を受け取るアンテナ）の種類が増え、撮像までの時間短縮や画質の向上に役立っています。例えば、左のイラストのように肩を覆う専用コイルもあります。

新たな撮像、画像処理により綺麗な画像が得られ、画像の種類にもよりますが、2~3割の時間短縮が可能となりました。

安全で快適

MRIでは高い磁場を維持するためのヘリウムが1500リットル必要でしたが、この装置は7リットルと極端に少なく、コストの削減や、ヘリウムの気化（クエンチ）による事故の危険性が無くなりました。

また、MRI内の患者空間が従来のもものより10cm広くなったことにより、圧迫感や閉塞感が少なくなり、体の大きな方でもゆとりを持って検査ができます。

ドイツ寝具メーカーと共同開発したマットレスを使用しており、長時間検査の不快感が抑えられます。

